

令和6年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画

[取組方針]

令和6年度（2024年度）は、平成23年度の公益財団法人移行から14年目を迎えます。また、文化ホールと美術館の指定管理は、改めて5期目の指定（令和6年度から10年度まで）を受け、その初年度となります。

両施設の管理及び事業運営に当たっては、区民の芸術文化活動の拠点としての役割を十分認識し、区民に身近な施設としてさらに親しまれるよう、施設の安全確保の徹底と利用者の更なる利便性の向上が求められています。

令和6年7月には、大ホールの舞台機構の交換工事等が行われる予定となっております。また、美術館については、令和5年11月に「新たな目黒区民センターの基本計画」が策定され、目黒区ではこれに基づき取組を進めていることから、次代に向けて新たな美術館像が確立できるよう、引き続き目黒区とより具体的な意見交換を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症は、財団運営に大きな影響と対応の変革をもたらしました。当財団としましては、時代の変化に的確、柔軟に対応し、地域において身近で芸術文化に触れる楽しさや感動を味わえる機会、自らが参加し表現する場を絶やさぬよう、皆様の声を受け止めながら、これからの時代にどのような事業をどのように展開すべきか新しい発想と創意工夫を凝らしながら取り組んでいきます。

6年度は、インターネットを活用した映像等の配信やソーシャルネットワークサービスを活用した情報発信などに継続的に取り組むとともに、直接的な芸術文化体験が持つ重要性を踏まえ、職員一同、創意工夫を図り、優れた実演芸術や美術作品展示の鑑賞機会の提供を行うほか、アウトリーチ事業の充実を図るなど、より多くの区民の皆様に芸術文化に親しむ機会が提供できるよう努めてまいります。

また、計画的な人材育成と就労環境の整備を進め、職員一人ひとりの資質向上と組織の活性化を図るとともに、自主財源の確保や効率的な事業執行に取り組み、持続可能な財団経営に向けて、区の支援も得て経営基盤の強化に努めてまいります。

今後も、目黒区の芸術文化振興の一翼を担う公益法人として、誰もが身近な地域で芸術文化に親しみ、心豊かに暮らすことができるよう、区をはじめ関係団体との連携・協力のもと、財団一丸となって事業を展開し、区民の皆様の期待に応えてまいります。

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

令和6年度は、区民に良質な芸術・文化に触れる機会を提供するため、他館や区立中学校等との連携を図る事業など、より多様で魅力のある公演やイベントを実施します。

ア 主催事業

区立中学校吹奏楽部との連携事業やフレッシュ名曲コンサート、ラウンジライヴなど計7事業

イ 共催事業

オペラ公演など計8事業

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成や魅力のある地域づくり、そして安全・安心なホールを目指してまいります。また、地域の多様な芸術文化団体の活動等に対して、施設利用や広報等の支援を行います。

ア 主催事業

未来の音コンサート（2007年～）など計2事業

イ 共催事業

めぐろパーシモン芸術文化ネットワーク（5団体）など計16事業

(3) 体験・普及事業

次代を担う子どもたちの育成事業や¹社会包摂の視点も踏まえた事業等にさらに積極的に取り組みます。これまで目黒区立小・中学校を対象に実施してきたアウトリーチプログラムは、5年度に引き続き、区内都立・私立学校を対象にするとともに病院などを加え、芸術文化に身近に触れる機会の更なる充実を図ります。

ア アウトリーチプログラム：1事業

区立小中学校（2006年～）、区立幼稚園、区立こども園（2016年～）、東京医療センター（2013年～）、区立特別養護老人ホーム（2015年～）、心身障害者センター（2016年～）

イ ワークショップ事業：2事業

¹ 社会包摂：芸術文化に備わる特性を活かし、社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して社会参加の機会を開き、社会的課題の緩和や解決に取り組む継続的活動

(4) 指定管理事業（区との基本協定に基づき財団が実施する事業）

区民参加型の「めぐろで第九2024」をこれまでの経験等を活かし、クラシック等の裾野を広げることを目的に実施します。

(5) 受託事業

ア 目黒区文化祭

目黒区文化団体連合会や区と協力しながら、謡曲、華道・茶道、合唱をはじめ様々な芸術文化団体の活動を支援します。

イ めぐろオータムアート

目黒区美術館と連携し、音楽と美術を合わせたプログラムを実施します。

(6) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様にご利用いただく貸館事業については、常に公平・公正な施設の貸出を行ってまいります。

また、令和5年度の文化ホールスプリンクラー事故も踏まえて、設備の保守管理に努めてまいります。

2 運営方針

(1) 芸術文化の鑑賞、創造、発信の場として、また地域の芸術文化活動団体とも協働していくことで、地域に根差したホールとしてコミュニティに寄与する取組を進めます。

(2) 各種事業の実施に当たっては、各年代層の要望に沿っていることや公演のジャンルに偏らないことに留意します。

また、区立中学校吹奏楽部や実演芸術団体と連携・協力し、当館の特性を活かした創造性・発信性のある事業を実施するとともに、区民の芸術文化に対する関心を高め、「めぐろで第九2024」の実施など活動意欲が発揮できる機会を提供するために参加型事業の充実に努めます。

(3) 「アウトリーチプログラム」については、区や教育委員会をはじめ、実施する施設との連携を密にしながら、環境や対象に応じたプログラムを実施し、区民が身近な場所で生のパフォーマンスを鑑賞する機会を提供します。

特に、児童・生徒を対象にしたプログラムでは、区立小・中学校だけでなく、令和5年度に引き続き、区内の高校や私立学校も対象とし、芸術性の高い音楽や演奏家との交流を通じて地域の子どもたちの豊かな感性が育まれるよう取り組めます。

なお、派遣するアーティストは、当館でコンサートを実施した演奏家に依頼するなど、引き続き当館の事業活動とも連携した運営に努めます。

- (4) 「目黒区文化祭」及び「めぐろオータムアート」については、行政（目黒区、東京都）や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めるとともに、区民が芸術文化の活動に出会い、楽しむことのできる機会を提供します。
- (5) 広報については、当館の魅力や活動・事業を広く周知し、幅広い年代が利用するソーシャルネットワークサービス（Xやフェイスブック、インスタグラムなど）やメールマガジンでの情報発信など、様々な媒体を活用し、効果的かつ効率的な情報発信に努め、より多くの人々が情報を受信できるよう注力してまいります。
- また、公式 YouTube チャンネルで公演の映像を公開することで多様な鑑賞機会を提供し、引き続きオンラインでの広報やコンテンツの充実など更に身近で魅力的な当館を発信できるよう努めてまいります。
- (6) 事業内容の充実のため、区の補助金や東京都からの助成金等の活用を図るとともに、法人及び個人からの賛助会員等の拡大など、収入の確保に努めてまいります。
- また、収支のバランスにも留意しながら、区民等から信頼される堅実な運営に努めてまいります。
- (7) 当館の行政と財団による利用枠は、これまでの一般利用の実績や新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金の徴収など、今後の収益の見通しも踏まえ、大ホールが概ね25%程度、小ホールが概ね15%程度を目途に運営してまいります。
- また、顧客満足度を高める工夫に努め、施設の利用率向上を図ります。

目黒区美術館

1 事業方針

(1) 展覧会事業

収蔵品を活かしながら、他館と協働して開催する展覧会や目黒ゆかりの作家を紹介するなど、区民に親しみやすい内容の事業を展開します。

また、観覧料の区民料金等については、引き続き実施できるよう区と協議してまいります。

ア 自主企画展 3 展

個性ある企画を通して多様な作品を紹介する展覧会

イ 指定管理事業（区との基本協定に基づき財団が実施する事業）

美術館所蔵作品展、めぐろの子どもたち展

ウ 受託事業展

障がいのあるアーティストによる作品展、めぐろオータムアート、目黒区文化祭

エ 年間開館日数

区展を加え 188 日

オ 年間入館者数目標

5 展（自主企画 3、指定管理 2）で概ね 2 万 5 千人程度

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育くまれる事業として、例年行っている夏・春のワークショップやトイコレクションプログラムをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリートツアー、講演会等を実施します。

(3) 調査研究

目黒に息づく様々な文化資源の調査研究を深めてまいります。

また、個々の学芸員の専門性を活かしながら、引き続き、美術館の事業や運営を見据えた、より実践的な学芸活動を進めてまいります。

こうした調査研究の成果を土台にして、魅力ある企画展を催し、美術作品の豊かな表現を区民に伝えてまいります。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の芸術文化活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街、区内の美術館や博物館などとの協力関係の構築に努めるとともに、区や他団体等との連携を図り芸術文化活動の推進に努めます。

(5) 区民ギャラリーの運営

公平で公正な利用に供するため、抽選会の運用に留意します。

また、展示に関するアドバイスをはじめ、作業の安全性を確保し、区民等の創作の発表や交流の場として誰もが気軽に利用できるよう、適正な運営に努めます。

2 運営方針

- (1) 新たな目黒区民センターの基本計画（令和5年11月策定）で示されているように、新たなライフスタイルへ対応し、芸術文化への多彩なアプローチを図り、誰もが芸術文化に触れる機会を充実させ、より開かれた美術館を実現することで、芸術文化により、様々な境界を超えて人と人とがつながる「文化縁」の形成、充実を図ります。
- (2) 事業の実施に当たっては、経費の抑制に努めながら、予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。
また、他団体助成金の獲得など収入の確保に積極的に取り組むとともに、事業の効果や経済性も考慮しながら事業ごとの収支バランスにも留意してまいります。
- (3) 広報の一環として、ホームページのほか各種ソーシャルネットワークサービスを活用した情報発信について、配信頻度を増やし送信時間にも配慮するなど、より効果的となるように努めてまいります。
また、YouTubeチャンネル上に、展覧会や催事に関連した動画を公開し、PRに努めます。
- (4) ギャラリーツアー等は、校長会や図工部会など学校教職員や、学童保育クラブへの趣旨説明を丁寧に行いつつ、協議の上、子どもの鑑賞活動機会の拡充が図られるよう努めます。
- (5) 「めぐろオータムアート」等の実施に当たっては、文化ホールや区の芸術文化推進事業と連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。

令和6年度 目黒区文化ホール 事業計画

I 自主事業

1 鑑賞事業（15事業・67公演）

（単位：円）

区分	事業・公演						支出	収入			自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数等		チケット・参加費	区補助金	その他		
主催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演	1	3,383,100	4,009,585	0	0	626,485
	クラシック	2	3月	大ホール 小ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。本公演前に来場者拡大を目的としたプレコンサートを実施。助成金を活用し、事業を実施	2	7,715,250	3,375,420	0	3,862,000	△ 477,830
		3	2月	小ホール	○ 室内楽公演	著名なアーティストによる室内楽公演	2	2,297,800	1,245,840	0	0	△ 1,051,960
	ポピュラー	4	6月	大ホール	★ 区立中学校吹奏楽部との連携コンサート	ばんだウインドオーケストラと区内中学校吹奏楽部とのコラボ演奏会	2	6,677,500	3,000,000	0	600,000	△ 3,077,500
		5	冬頃	小ホール	○ JAZZ公演	著名なアーティストによるJAZZ公演	1	864,600	612,000	0	0	△ 252,600
	その他	6	未定	大ホール	☆ 夜のラウンジライブ	大ホールホワイエを活用した平日夜間のコンサート	2	432,500	240,000	0	0	△ 192,500
		7	未定	美術館	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演	2	393,500	240,000	0	0	△ 153,500
	小計	7				○ 次年度準備		100,000	0	0	0	△ 100,000
小計	7					12	21,864,250	12,722,845	0	4,462,000	△ 4,679,405	
共催	バレエ	1	8月	大ホール 小ホール	○ 東京バレエ団「第12回 めぐるバレエ祭り」	東京バレエ団主催による大ホール公演と小ホール等での各種ワークショップやイベント	40	37,800	37,800	0	0	0
		2	12月	大ホール	○ ジョージア国立バレエ「くるみ割り人形」	(株)光藍社主催によるバレエ公演	1	108,000	108,000	0	0	0
	クラシック	3	7月 3月	小ホール GTホール	○ レクチャー付室内楽公演	(一社)Music Dialogue主催によるレクチャー付室内楽公演	3	11,800	11,800	0	0	0
	オペラ	4	5月	大ホール	☆ 二期会ニューウエーブ・オペラ劇場	(公財)東京二期会主催によるオペラ公演	2	41,580	41,580	0	0	0
		5	2月	大ホール	☆ オペラ「ドン・ジョヴァンニ」	Bunkamura主催によるオペラ公演	3	101,520	101,520	0	0	0
	ポピュラー	6	11月	大ホール	☆ ピアノエラ2024	国内外のピアニストによるピアノフェスティバル	2	42,120	42,120	0	0	0
		7	5月	大ホール	○ ポピュラーコンサート	東京労音主催によるポピュラーコンサート	1	70,200	70,200	0	0	0
	伝統芸能	8	春、夏、 秋	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演	3	183,708	183,708	0	0	0
小計	8					55	596,728	596,728	0	0	0	
合計	15					67	22,460,978	13,319,573	0	4,462,000	△ 4,679,405	

※ 主催の番号2のその他は、(公財)東京都歴史文化財団からの助成金(376.2万円予定)及び広告料収入(10万円)

※ 主催の番号4のその他は、(公財)北野生涯教育振興会からの協賛金

2 地域の芸術文化・支援事業（18事業・22公演）

（単位：円）

区分	事業・公演						支出	収入			自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数等		チケット・参加費	区補助金	その他		
主催	地域支援	1	4月	大ホール	○ 第13回避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画	1	551,000	0	551,000	0	0
	新進支援	2	9月 10月	小ホール	○ 未来の音コンサート	新進アーティストのクラシックコンサート	2	1,711,600	1,036,000	0	0	△ 675,600
	小計	2					3	2,262,600	1,036,000	551,000	0	△ 675,600
共催	団体支援	1	4月・3月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(決選・予選)	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール	1	60,800	0	0	0	△ 60,800
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演	1	5,200	5,200	0	0	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による児童舞踊部門だけの公演	1	1,000	1,000	0	0	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会 *	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会	1	0	0	0	0	0
		5	5月	中目黒GT プラザホール	○ 目黒レクチャーコンサート邦楽 煌(きらら)	邦楽研究会 芦垣(旧主催者名は東京インターアーツ目黒)主催による現代音楽と邦楽のコンサート	2	900	900	0	0	0
		6	12月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会 *	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会	1	5,000	5,000	0	0	0
		7	11月	大ホール	○ 目黒吹奏楽団 定期演奏会 *	目黒吹奏楽団主催による定期演奏会	1	0	0	0	0	0
		8	7月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会	1	36,000	36,000	0	0	0
		9	6月 9月	小ホール	○ 舞台芸術に親しむ	(公財)北野生涯教育振興会による公演	2	5,400	5,400	0	0	0
		10	3月	小ホール	○ 北野財団主催 チャリティーコンサート	(公財)北野生涯教育振興会によるチャリティーコンサート。公募で集まった区民が合唱団員として出演	1	3,000	3,000	0	0	0
		11	7月	大・小ホール	○ 第22回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント	1	300,000	0	150,000	0	△ 150,000
		12	10月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート *	童謡の里めぐり保存会主催による童謡・合唱等のコンサート	1	10,000	10,000	0	0	0
		13	12月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	パイオニア(株)主催による聴覚障害者等を対象としたコンサート	1	0	0	0	0	0
		14	2月	大ホール	○ 毎日映画コンクール	(株)毎日新聞社主催による映画コンクール表彰式	1	3,544,000	0	3,544,000	0	0
		15	3月	大ホール	○ めぐるクラシックセレクション *	目黒区クラシック音楽家協会主催によるコンサート	1	8,500	8,500	0	0	0
子育て支援	16	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート	2	7,500	7,500	0	0	0	
小計	16					19	3,987,300	82,500	3,694,000	0	△ 210,800	
合計	18					22	6,249,900	1,118,500	4,245,000	0	△ 886,400	

※ めぐるパーシモン芸術文化ネットワークとは、芸術文化活動を通して活動団体の交流・連携・協力を深め、目黒区の芸術文化の振興を進めることを目的とした団体（目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐり保存会、目黒区クラシック音楽家協会）

3 体験・普及事業（3事業・47公演）

（単位：円）

区分	事業・公演						支出	収入			自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数等		チケット・参加費	区補助金	その他		
主催	ワークショップ	1	6、7月	小ホール	○ 子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)	子どもを対象にしたワークショップ	3	1,710,900	141,000	0	1,400,000	△ 169,900
		2	未定	小ホール	○ 大人のための演劇ワークショップ	大人を対象にしたワークショップ	1	1,018,200	100,000	0	0	△ 918,200
	アウトリーチ	3	年間	小中学校等	○ アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流等を実施	43	6,623,713	0	5,000,000	1,000,000	△ 623,713
合計	3					47	9,352,813	241,000	5,000,000	2,400,000	△ 1,711,813	

※ 番号1、3のその他は、（公財）北野生涯教育振興会からの協賛金

合計(公演等事業経費:1+2+3)	38,063,691	14,679,073	9,245,000	6,862,000	△ 7,277,618
-------------------	------------	------------	-----------	-----------	-------------

4 自主事業運営経費

（単位：円）

区分	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	支出	収入			自主財源 (収入－支出)
				チケット・参加費	区補助金	その他	
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料	1,022,600	0	500,000	0	△ 522,600
	○ 都立大学駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料	486,400	0	458,600	0	△ 27,800
	○ ボランティア活動の支援	ホールの事業等のスタッフとして活動を支援	23,500	0	0	0	△ 23,500
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営	35,500	0	0	612,000	576,500
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布	6,000,000	0	2,098,800	862,400	△ 3,038,800
	○ その他全体広報	ホール全体の広報等	200,000	0	0	0	△ 200,000
	○ 鑑賞機会の多様化に伴う事業	事業に係る動画配信費用等	1,100,000	0	0	0	△ 1,100,000
合計			8,868,000	0	3,057,400	1,474,400	△ 4,336,200

※ 賛助会運営のその他は、賛助会。アートレターのその他は、広告料収入

(36事業 136公演)	総合計(自主事業経費:1+2+3+4)	46,931,691	14,679,073	12,302,400	8,336,400	△ 11,613,818
--------------	---------------------	------------	------------	------------	-----------	--------------

II 指定管理事業

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数等	支出	収入			自主財源 (収入-支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・参加費	指定管理料	その他	
指定管理事業	1	12月	大ホール	★ めぐるで第九2024	指定管理事業として財団の創意工夫を生かした区民参加型コンサート	2	10,476,942	4,970,800	2,209,000	1,000,000	△ 2,297,142
合計	1					2	10,476,942	4,970,800	2,209,000	1,000,000	△ 2,297,142

※ 番号1のその他は、(公財)北野生涯教育振興会からの協賛金

自主事業経費(Ⅰ) + 指定管理事業費(Ⅱ)	57,408,633	19,649,873	14,511,400	9,336,400	△ 13,910,960
------------------------	------------	------------	------------	-----------	--------------

公演等事業経費 【自主事業公演等事業経費(1+2+3) + 指定管理事業費(Ⅱ)】	48,540,633	19,649,873	11,454,000	7,862,000	△ 9,574,760
---	------------	------------	------------	-----------	-------------

III 受託事業

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数等	支出	収入			自主財源 (収入-支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・参加費	区委託料	その他	
受託事業	1	春・秋	大・小ホール等	○ 第59回目黒区文化祭	日舞、合唱、民踊、華茶道、邦楽、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演	14	1,929,243	0	1,929,243	0	0
	2	秋頃	区内施設等	○ めぐるオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、①美術館との連携事業②区内施設でのコンサートを実施	2	936,000	140,000	796,000	0	0
合計	2					16	2,865,243	140,000	2,725,243	0	0

全事業合計 【自主事業経費(Ⅰ) + 指定管理事業費(Ⅱ) + 受託事業費(Ⅲ)】	60,273,876	19,789,873	17,236,643	9,336,400	△ 13,910,960
---	------------	------------	------------	-----------	--------------

令和6年度 目黒区美術館 事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位：円)

No.	展覧会名	期間(予定)	内容	支出	収入			自主財源 (収入-支出)
					展示事業	区補助金	その他	
1	「青山悟 刺繍少年フォーエバー」	4月20日(土) ～6月9日(日) (44日間)	青山悟は、目黒区出身の現代美術作家です。ミシン刺繍という、美術作品の制作技法としては特異な手段で作品を制作していますが、そこには、現代社会における労働や資本主義とは何か、美術とは何かという問いかけがこめられています。近年は、時代とともに社会から姿を消そうとしている様々な「消えゆくもの」をテーマにしています。 社会にアートやアーティストがどのように関わっているかという問題を提起する青山は、自身の制作と社会とをつなげる手法として、ワークショップの開催にも力を入れて来ました。 この度の展覧会に先行し、令和5年度内のプレ・プログラムとして、「ノイズ」をテーマにした大人向けの音楽と美術のワークショップ、および区内の五本木小学校に向くアウトリーチ・プログラムを実施しました。アウトリーチで生徒とともに制作した作品は展覧会で展示する予定です。	7,379,944	2,202,000	277,944	1,000,000	△ 3,900,000
2	「生誕130年 武井武雄 幻想の世界へようこそ」	7月6日(土) ～8月25日(日) (44日間)	武井武雄は、童話の挿絵として軽視されていた児童向けの絵画のために「童画」という言葉を発案しました。その活動は多岐にわたり、童画、版画、刊本作品、玩具やトランプのデザインなど様々な芸術分野で活躍しました。 当館の所蔵作家である、目黒区出身の工業デザイナー秋岡芳夫は、武井と初山滋の創設した「日本童画会」に入会し多くの童画を描いたことから、2016年には当館にて、秋岡、武井、初山の作品を紹介する「童画の国から」を、武井の個人顕彰館である長野県岡谷市のイルフ童画館他の協力で開催しました。開催年は武井の生誕130周年にあたることからこれを記念して、前述したイルフ童画館他を巡回する展覧会を開催します。 この度は、武井の教育者としての側面、結成した「日本童画家協会」における作家の権利を守る活動、彼の活動の軸となった子どもをめぐる様々な視点などに焦点を当てた内容を予定しています。	9,615,000	2,815,000	6,800,000	0	0
3	「中世の華・黄金テンペラ画 への旅 - チェンニーノ・チェン ニーニ『絵画術の書』と石原靖夫」	令和7年 2月15日(土) ～3月23日(日) (32日間)	当館では、「画材と素材の引き出し博物館」の企画制作と活用から始まり、画材や素材、色材にスポットを当てた展覧会とワークショップを多数開催してきました。この度は、この流れから、技法に着目し、中世の華とも表される黄金テンペラ画を取り上げます。 西欧で、油彩画が主流になる前に広く使われていたテンペラ技法による絵画は、祭壇画や装飾写本に今も華麗な色彩をみることが出来ます。金箔を背景に、顔料を卵黄で溶き描き上げていくこの技法は、金箔に見事な装飾技法が施され工芸的な魅力にもあふれています。当館は、1992年から7度にわたり画家・石原靖夫と「ワークショップ：古典技法への旅」を開催し、この技法を探求してきました。 本展では、石原が1970年代イタリア留学中に制作した古典復元模写の大作と、中世の技法を今に伝える書物『絵画術の書』にフォーカスし、緻密で華麗な技法の魅力や、工程見本、色材、素材などで構成して紹介していきます。	7,993,352	1,790,000	203,352	500,000	△ 5,500,000
4	次年度準備経費	—	主に次年度4月開催展覧会用準備経費(ポスター、チラシ、チケット制作や通信経費等)	1,250,000	0	0	0	△ 1,250,000
				26,238,296	6,807,000	7,281,296	1,500,000	△ 10,650,000

※ 番号1のその他は、(公財)北野生涯教育振興会からの協賛金(予定)

※ 番号3のその他は、寄付金収入(予定)

【指定管理事業・展覧会】

(単位：円)

No.	展覧会名	期間(予定)	内容	支出	収入			自主財源 (収入-支出)
					展示事業	指定管理料	その他	
1	目黒区美術館コレクション展 (仮称)	10月12日(土) ～11月17日(日) (32日間)	目黒区美術館では1987年の開館以来、近代以降の、海外で学んだり、国際的に活躍をした日本人画家を中心として、目黒にゆかりある作家・作品に焦点を当て、特色あるコレクションを形成してきました。これまで収集してきた所蔵作品の中から、人気の高い作品を中心に紹介します。	5,132,000	780,000	4,352,000	0	0
2	めぐろの子どもたち展	令和7年 1月18日(土) ～2月2日(日) (14日間)	目黒区立の幼稚園、こども園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものになりたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介します。あわせて交流のある海外都市の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,988,000	0	1,988,000	0	0
				7,120,000	780,000	6,340,000	0	0

【自主事業・教育普及】

(単位：円)

No.	事業名		時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入			自主財源 (収入-支出)
								催物	区補助金	その他	
1	ワークショップ(1)夏		7月～9月	子ども～大人	4コース程度	夏季に開催する展覧会に関連した内容を行います。	430,000	30,000	400,000	0	0
2	ワークショップ(2)春		令和7年 2月～3月	子ども～大人	3コース程度	美術の基本に関するテーマを設定し、美術全般についての美術講座を開催します。	350,000	40,000	310,000	0	0
3	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		4月～5月	中学生～大人	4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアー。国内各地の村野建築ツアーなど関係する美術館等相互の広報も前年に引き続き実施します。	380,000	160,000	140,000	80,000	0
4	トイコレクション プログラム	アウトリーチ	6月～11月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介します。トイの日は、美術館で実施します。					
		トイの日	7月～9月	乳幼児～大人	5日程度						
5	大人のための美術カフェ		該当する展覧会の会期中	高校生以上	複数回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。ラウンジ等で展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定してお話します。					
6	ギャラリーツアー		該当する展覧会の会期中	小中学校	複数回	区内、近隣小中学校や学童保育クラブの児童生徒の鑑賞教室他を受け入れます。					
7	デザインキャンプ プラス		夏以降	高校生以上	1回	プラス株式会社との協働ワークショップ。デザインに関するワークショップを開催します。					
8	美術講座等		夏以降	高校生以上	3回程度	美術に関する連続講座等を開催します。					

※ 事業費については、主に参加料収入を充てます。

※ 各展覧会においては、関連催事を予定しています。

※ その他は、博物館実習収入

【受託事業・展覧会、教育普及】

(単位：円)

No.	展覧会名・事業名		時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入			自主財源 (収入-支出)
								展示・催物	区委託料	その他	
1	障がいのあるアーティストによる作品展		10/26(土) ～11/17(日) 20日間	—	—	目黒区内の障がい者通所施設を中心に、区内在住の障がいのある方が作った作品を紹介する予定です。	4,300,000	0	4,300,000	0	0
2	めぐろオータムアート (目黒区文化・交流課と財団の共同企画)		秋頃	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、幅広い年代に美術と美術館に親しんでいただくことのワークショップ。パーシモンホールとの共同企画で、音楽と美術に関する催事を行います。	303,000	21,000	282,000	0	0
							4,603,000	21,000	4,582,000	0	0

《受託事業・目黒区文化祭》(区民ギャラリー) ※ 日程については予定

(1) 華茶道展: 4月

(2) 自主グループ展: 4月

《後援事業》(区民ギャラリー) ※ 日程については予定

(1) 目黒区書作家協会展: 5月

(2) 目黒区美術家協会展: 6月

(3) 目黒区美芸作家協会展: 令和7年3月

《協力事業～主催:目黒区民作品展実行委員会》

(1) 区展(区民作品展):9月18日(水)～29日(日)